

第5期

金沢区子育て支援の 協働の指針

令和8年度～令和12年度



みんなで子育て 金沢区

子育てしやすいまちづくりのために

金沢区子育て支援の協働の指針とは

金沢区では、独自に「金沢区子育て支援の協働の指針」を策定しており、今回が第5期となります。

指針とは、養育者・地域・関係機関・区役所が「こどもの健やかな育ち・心地よい子育て」の実現に向けて、それぞれの取組を明確にし、連携・実施していくための道標となるものです。この指針には、「金沢区のこどもたちが健やかに育ってほしい」「ひとりひとりのこどもが、その子らしく輝いてほしい」「金沢区の養育者に心地よく子育てしてほしい」といった思いが込められています。



発行：金沢区健やか子育て連絡会 令和8年度
問い合わせ：金沢福祉保健センターこども家庭支援課
TEL 788-7787

金沢区
幸せお届け大使
ぼたんちゃん

基本方針

こどもの健やかな育ち
心地よい子育て



目標

- 1 子育て中の親と子が、必要な情報にすぐアクセスでき、安心して集える居場所があり、地域の温かい支えを感じながら、心地よく子育てできるまちを目指す。
- 2 支援者が情報発信や交流を通じて支援の輪を広げ、やりがいを感じながら、地域全体で子育てを支える持続可能な仕組みを築く。

取組

- 1 親子がほしい情報が見つかる発信の仕組みづくり
- 2 親子が出会える地域の居場所づくり
- 3 子育てを温かく見守る地域づくり
- 4 子育てを支える持続可能なネットワークづくり



養育者・地域・関係機関・区役所の連携した取組

第4期指針からの流れ

「第4期金沢区子育て支援の協働の指針」では、「必要な人に必要な情報が届くしくみづくり」「つながることのできる場づくり」「子育てしやすいまちの雰囲気づくり」「子育てを支えるネットワークづくり」の4項目を取組の柱に掲げ、取り組んできました。令和6年度に「健やか子育て連絡会」(※7ページ参照)のメンバー(以下「健やか」メンバー)と取組の振り返りを行った結果、「SNSの活用の推進」「よりよい場づくりに向けた研修会の開催」「それぞれの機関や団体の活動の共有」について、更なる取組が必要と判断されました。

また、令和6年度に子育て実態調査を実施したところ、金沢区の子育て世帯を取り巻く実態について、子育て家庭の情報収集方法の変化や、共働き世帯の増加、近所付き合いの希薄さなどの課題を把握しました。「健やか」メンバーからは、子育てを支える担い手が不足しているなどの指摘もありました。

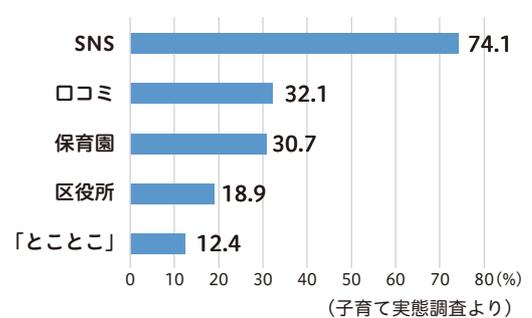
「第5期金沢区子育て支援の協働の指針」では、こうした課題を踏まえ、第4期指針で取り組んできた4つの取組をそれぞれ見直すとともに、基本方針に「心地よい子育て」を加えました。これは、こどもの育ちを支援するのみでなく、養育者にも金沢区で安心して子育てしてほしいという願いを込めています。

現状と方向性

子育て実態調査の育児情報の収集方法については、SNS（LINE、Facebook、Instagram など）から収集している人が多いという結果でした。また、地域子育て支援拠点「とことこ」（以下「とことこ」）を利用したことがない人の約半数も「とことこ」が発信している情報を閲覧したことがあるという結果でした。

そこで、養育者が金沢区内の子育て情報に多数アクセスできるようにするとともに、「とことこ」への情報集約と発信の仕組みを整理します。

育児情報の収集方法（上位5つ）

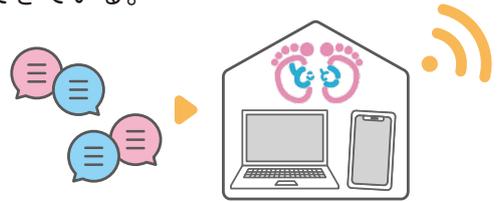


取組① 「とことこ」への子育て支援情報の集約と発信

子育て支援をしている機関や団体、イベント情報等を「とことこ」へ集約し発信します。

到達イメージ

- 子育て支援情報が「とことこ」に集約される仕組みが構築され、その仕組みを支援者が共通認識として持ち、情報集約ができている。
- イベント等は、適切なツールを使用して「とことこ」から養育者等へ情報発信ができている。（ホームページ、公式LINE、Instagram、ブログ、掲示板等）



取組②

健やか子育て連絡会メンバーのSNSの活用、WEBでの情報発信を推進

既存媒体での情報発信と併せてSNS（ホームページ、ブログ、X、Instagram、公式LINE等）を活用し、身近でタイムリーな情報発信をさらに進めます。

到達イメージ

- 「健やか」メンバーがSNS等で情報発信ができるよう、養育者が閲覧するツールに関する研修が行われている。
- 養育者が「#金沢っこ」で検索すると金沢区内の子育て情報に多数アクセスできるようになっている。
- 子育て関係のイベント、子育て情報以外の地域情報（コミュニティカフェ、親子が利用できる休憩場所等）も発信できている。また、パマトコ※等を用いて年齢別等のカテゴリー分けした情報発信ができている。
- ボランティア等の参加を促せるように、対象者を意識して情報発信ができている。



※パマトコとは、横浜市の子育て支援アプリです。

地域の方々と一緒に取り組んでいくこと

- 「とことこ」に子育て情報を送って養育者向けに情報を発信しましょう！
- 効果的な情報発信について一緒に勉強していきましょう！
- 「#金沢っこ」を付けて子育て情報を発信していきましょう！
- SNSへのリポストや口コミなどで子育て情報をどんどん広げていきましょう！

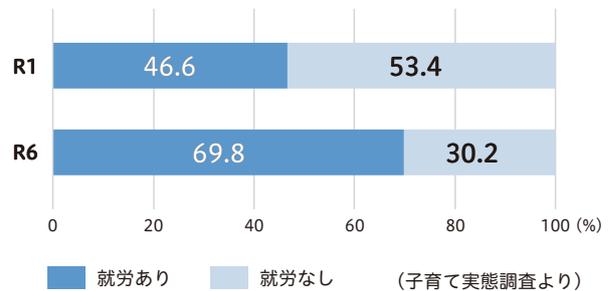


親子が出会える地域の居場所づくり

現状と方向性

子育てサロンは親子が地域とつながる場、相談できる場など親子の居場所として親しまれていますが、年々減少しています。子育てサロンは平日開催が多い状況ですが、共働き世帯の増加により、平日日中仕事をしている世帯も利用できる場など地域の居場所の充実が求められています。これらを踏まえ、子育てサロンを含む親子の居場所の継続支援と多様なニーズに応える居場所づくりに取り組んでいきます。

母親の就労状況



取組 ① 地域の活動と親子がつながる地域の居場所の継続

親子で利用できる地域の居場所や活動が継続できるように、ニーズに合わせて、地域の子育て支援機関が活動を支援していきます。

到達イメージ

- 親子が集える場や子育てサロンなど、親子で遊びに行ける地域の居場所が各地区において継続的に開催されている。
- 親子が過ごせる居場所を提供し続けるため、子育てサロン運営者が地域の子育て支援機関と協働・相談できる関係ができています。
- 支援者の困りごとやニーズに基づく支援がされ、支援者がやりがいをもって居場所が提供されている。
- 居場所の担い手が確保されている。



取組 ② 平日日中以外に利用できる居場所やイベント等の試行

平日日中に開催される親子の居場所やイベント等に参加できない親子も利用できる居場所や、参加できるイベント等について試行していきます。

到達イメージ

- 親子が休日に利用できる居場所を開催し、その情報が提供・周知されている。
- 親子が子育てに関する情報（外出できない場合でも家の中で楽しく過ごせる過ごし方、遊びなど）にいつでもアクセスができる。

取組 ③ よりよい地域の子育ての場づくり

よりよい場づくりのために支援者向けの学びの機会や交流の場を作ります。また、対象に合わせた居場所を作ります。

到達イメージ

- 子育て支援をしている機関や団体間で活動見学、意見交換等が定期的に行われている。
- ひとり親家庭やプレパパ・プレママなど対象を絞った居場所がある。



地域の方々と一緒に取り組んでいくこと

- 親子が遊びに行ける地域の居場所を続けていきましょう！
- 共働き世帯やプレパパ・プレママなどさまざまな親子がそれぞれ参加できる場や機会を考えていきましょう！



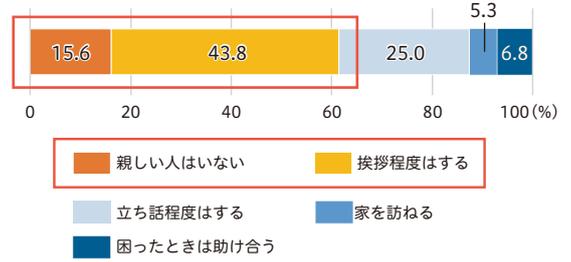
現状と方向性

子育て実態調査では、近所づきあいの状況について約半数の人が「親しい人はいない」「挨拶程度はする」と回答しており、地域での人と人のつながりが希薄化していることが示されました。

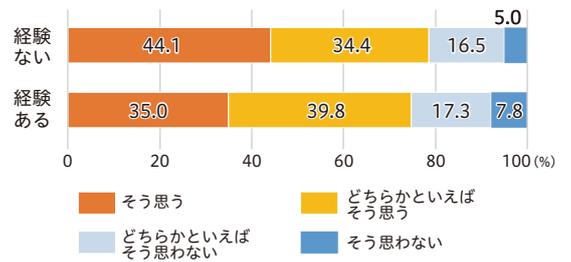
他にも、初めてのこどもが産まれるまでに、赤ちゃんに接した経験がない人は子育てでイライラすることが多いことがわかりました。中高生のうちから赤ちゃんと接することや、家族以外の子育て経験者となつながら多世代交流の場が増えていくように取り組んでいきます。

また、健やか子育て連絡会のアドバイザーである久保先生からは、養育者は地域でくつろげる場を求めている、視線を気にせず参加できることが重要だとの見解もいただいております。地域住民が子育て中の親と子を温かく見守る地域づくりに取り組んでいきます。

近所づきあいの状況



赤ちゃんに接した経験と子育て中のイライラ



(子育て実態調査より)

取組 ① 多世代交流の場の継続

多世代交流(親子と中高生、高齢者、プレパパ・プレママ等)の場や、先輩養育者へ相談し支え合える機会や仕組みを提供します。

到達イメージ

- 「健やか」メンバーが多世代交流の場に関する理解を深め、地域のさまざまな居場所に働きかけることで多世代交流が行われている。
- さまざまな世代が気軽に参加し、多世代交流が行われる場がある。
- 地域の既存のイベント(運動会、防災訓練、音楽会等)に親子が楽しめるような内容を組み入れ、参加しやすい時間設定等の工夫がなされている。



取組 ② 地域住民が子育てに寄り添う機会づくり

各地区の支援者と地域住民が子育ての現状を知り、地域の現状や実態に基づいた活動について考える機会を作ります。

到達イメージ

- 地域全体で子育てを応援する機運を高めるため、子育て世代の現状が周知され、子育て世代が地域に出やすい工夫がされている。
- 子育て支援の場や子育てイベントに多くの地域住民が参加している。

地域の方々と一緒に取り組んでいくこと

- 昔遊び体験、防災訓練、おしゃべりカフェなど地域のさまざまな居場所に親子が参加しやすくなる工夫をしてみましょう!
- 顔見知りになった親子に声をかけてみましょう!
- 地域の既存の取組にも多世代交流の機会が設けられないか検討してみましょう!

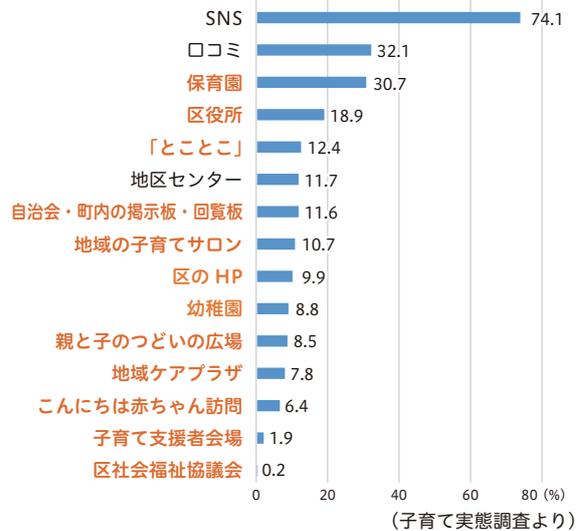


現状と方向性

金沢区の健やか子育て連絡会では、「健やか」メンバーが日々行っている子育て支援活動に関する意見交換や子育て支援に関する勉強会などを行っています。子育て実態調査の育児情報の収集方法では、SNSとの回答が大半を占める中、保育園や「とことこ」をはじめ、地域の子育てサロンなど、「健やか」メンバーから情報を集めるという声も一定数ありました。

また、「健やか」メンバーからは「担い手不足が課題」との声もあることから、健やか子育て連絡会が持続可能なネットワークとなっていくよう、担い手の確保や育成を意識した取組を行います。

育児情報の収集方法 ※赤字は「健やか」メンバー



取組 ① 健やか子育て連絡会を通じた各機関や団体のネットワーク化

子育て支援をしている機関や団体が、定期的な情報交換や学び合いができるよう、健やか子育て連絡会を運営します。

到達イメージ

- 「健やか」メンバー同士で顔の見える関係が築かれ、①活動内容の共有、②子育て支援活動の維持に向けた工夫、③課題の共有・相談等情報交換ができています。
- 「健やか」メンバーが各種子育てに関する情報を習得することで、「健やか」メンバーを通じて子育て中の親と子に情報が広まっている。
- 子育て中の親と子の声などが健やか子育て連絡会に届き、取組に反映されている。



取組 ②

子育て支援のやりがい・楽しさの共有等、担い手の育成を意識した取組の実施

子育て支援をして良かったと感じることや得られたことを「健やか」メンバー同士で共有・共感し、子育て支援のやりがいや魅力を地域に伝えることで担い手の育成を意識した取組を行います。

到達イメージ

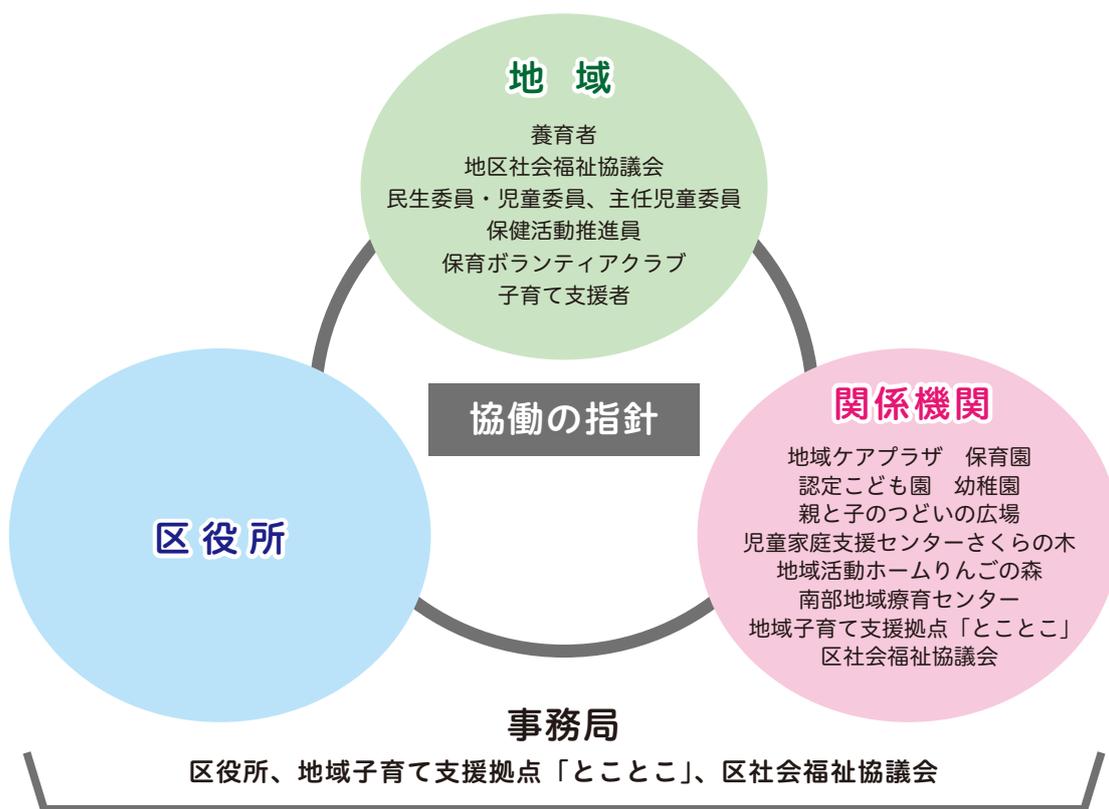
- 子育て支援活動で良かったこと、得られること等、子育て支援のやりがい、楽しさを広く発信することで、担い手の確保に取り組んでいる。
- 各団体で担い手の育成に関して意見交換が行われている。
- 子育て支援の担い手として、子育て支援に協力できる世代（日中隙間時間のある養育者、高校生・大学生以上の子がいる世代や定年退職後の世代、中高生や大学生のボランティア等）へも子育て支援活動が周知されている。

地域の方々と一緒に取り組んでいくこと

- 地域の子育て支援活動やそこで出会った親子の声を健やか子育て連絡会で共有して、得られた情報を地域で親子に伝えていきましょう！
- 子育て支援のやりがいや楽しさを共有して地域に持ち帰り、仲間探しに活かしましょう！



金沢区健やか子育て連絡会とは



金沢区健やか子育て連絡会は、平成17年度に開始した、養育者・地域・関係機関・区役所からつくる金沢区の子育て支援ネットワークです。

連絡会は、主に乳幼児期の子育て支援にかかわる支援者が集まり、「金沢区子育て支援の協働の指針」をもとにそれぞれの役割を確認しながら顔の見える関係・連携を深め、子育ての課題を共有し、子育てしやすい地域づくりを進めています。

金沢ささえあいプラン（金沢区地域福祉保健計画）

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちを目指し、住民同士の支え合いを柱として、地域の福祉保健に関する課題解決に向け、区民・事業所・行政が取り組んでいくための計画です。第5期計画では、「つながろう」「ふみだそう」「いきいきと」の3つ推進の柱を設定し、取組を推進します。

※「金沢区子育て支援の協働の指針」は「金沢ささえあいプラン」の子育て支援にかかる活動の方向性を示すものです。



金沢ささえあいプランの
 詳細はこちら

